

明治大学国際交流基金事業特別講義
Special Lectures for the International Exchange Fund, Meiji University

宗族文化遺産と 晩清以降中国社会の 再編成

宗族文化遗产与晩清以降中国社会的转型

2016年7月1日(金)

18:00~19:30

明治大学駿河台キャンパス研究棟第2会議室(4階)

本講義では、宗族の発展段階を概述し、中国江南地域の宗族を例に、宋元以来の中国における宗族の変遷、特に晩清以後の宗族の変遷と中国社会の再編成の関係について、現在の江南地域宗族の可能性の伸長も含めて分析する。具体的事例としては温州、余姚、蘇州、福州等の地域の宗族を取り上げる。さらに宗族への見解を基礎とした理論的仮説と構想についても講述を予定している。



費 和平(FEL, Heping)

南京大学歴史学院(中国)

考古文物系・文化與自然遺産研究所

助理研究員

費和平氏は、一つの倫理文化に従う基層的自治組織という視点から宗族文化遺産に着目した研究を進めている。専門は中国考古学・文化遺産学であり、多くの考古学発掘の他、「無錫恵山祠堂群文化景觀」、「江南水郷」など、中国における世界文化遺産申請調査にも参画している。

★聴講無料(事前申込み不要) ★大学院生・研究者向け

言語:中国語(通訳なし)

講義企画者・問い合わせ:明治大学文学部 石川日出志 hideshi@meiji.ac.jp

主催:明治大学日本古代学研究所

共催:中国現代史研究会

後援:明治大学国際連携本部